

## 第9回キャンパスビジット 事後報告書

キャンパスビジット実行委員会 代表  
医学科3年 尾崎 遥

令和3年6月27日(日)、私たちは第9回キャンパスビジットを開催しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響から、例年とは異なりオンラインでの開催となりましたが、今回のキャンパスビジットも県内外から約50名の高校生にご参加いただきました。

このキャンパスビジットは、本学医学科への進学を考えている方や、本医学科に興味を持っている高校生等を対象にしたものです。毎年夏に行われる大学によるオープンキャンパスとは一味違い、有志学生から成る実行委員会が主体となり、本学医学科の魅力や医学科生のキャンパスライフを紹介し、グループディスカッションなどを通して、参加者の受験勉強に対するモチベーションを上げてもらうことを目的としています。今回のキャンパスビジットでは、在校生・講師の先生からのお話、現役大学生を交えての座談会、グループに分かれての臨床推論、閉会后には学生による進路相談会を行いました。以下に各企画について詳細にレポートしたいと思います。

まず、開閉会式では泉川先生にご挨拶をいただきました。



泉川先生のご挨拶の様子

在校生講話では1年高椋と3年村山より受験勉強や大学生活についての話がありました。



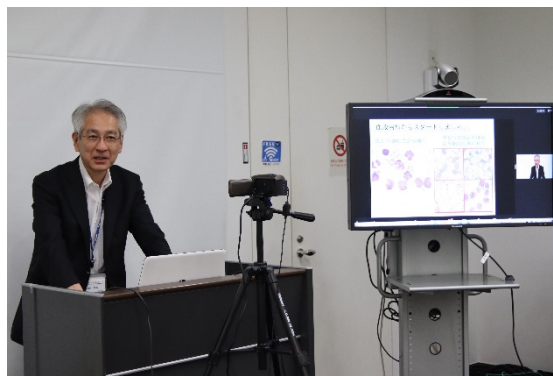
在校生講話の様子

病態推論では学生スタッフ 2 名と高校生 7 名程度のグループに分かれてグループディスカッションをしたのち、4 年柿原と 4 年山下が症例解説をしました。今回は新型コロナウイルス感染症と糖尿病を扱いましたが、高校生からレベルの高い質問もあり、我々学生にとっても非常に勉強になる企画でした。



病態推論の様子

先生のご講演では、長崎大学産婦人科の北島道夫先生と長崎大学総合診療科の前田隆浩先生をお招きしました。北島先生からは産婦人科医の役割や HPV ワクチンなどについてのお話を、前田先生からは先生が総合診療に従事されるようになった経緯や、地域医療の抱える問題点などについてのお話をいただきました。ここでも高校生からたくさんの質問が寄せられましたが、中には先生方も驚かれるほど専門的な質問もあり、参加してくださった高校生の医学に対する興味関心の高さを感じました。



先生方のご講演の様子

座談会では病態推論と同様の班に分かれ、大学志望理由や受験勉強、大学生活などを自由に話しました。



座談会の様子

進路相談会は希望者のみを対象としましたが、多くの高校生が参加してくれました。入試枠ごとに Zoom のブレイクアウトルームを設置し、高校生に参加したいルームを選んでもらうという形を取ったため、入試枠に特化した話をすることができました。



スタッフ・高校生集合写真

ここで、アンケート結果を踏まえた振り返りをしたいと思います。まず、「遠方に住んでおり対面開催だと参加できないため、オンライン開催でよかった」という声がいくつかありました。今後感染状況がどうなるかは分かりませんが、次回、対面開催ができる場合でもオンライン配信を企画するとよいかもしれません。また、開催日が高校生の定期試験期間と被っていたようです。次回以降はその点にも気を付けながら開催日を決定するとよいと思います。

最後になりましたが、参加してくださった高校生の皆様、大学関係者の皆様、本当にありがとうございました。初のオンライン開催ということで不手際が多く、ご迷惑をおかけすることも多々ありましたが、皆様のご協力のおかげで無事に第9回キャンパスビジットを開催することができました。実行委員スタッフを代表して心より御礼申し上げます。引き続き、キャンパスビジットをよろしくお願い致します。